

保護者の皆様

令和5年10月6日

川崎市立生田中学校
校長 中村 隆英

令和5年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査 結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月13日(木)に行いました1～3年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日(火)に行いました3年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学教育目標「一人ひとりが自ら学び、思いやりの心と正しい判断力をもって行動できる生徒の育成」の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは生徒の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより等でもお伝えします。

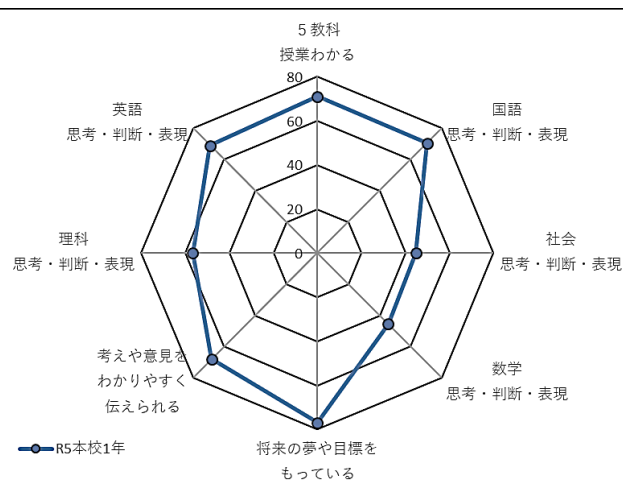
《目指す生徒像》

1. 夢と希望をもち、その実現に向けて努力する生徒
2. 自他を大切にし、責任ある行動がとれる生徒
3. 高い志をもち、未来を創造できる生徒

《教育の重点》

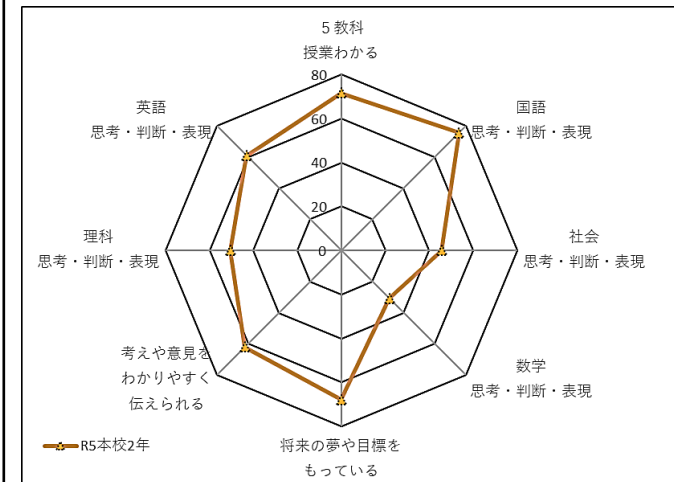
- 確かな学力の育成
- 生き生きとした活動の推進
- 学びの環境づくりと有効な活用
- 地域ぐるみの教育の推進

令和5年度 川崎市学習状況調査 1年生



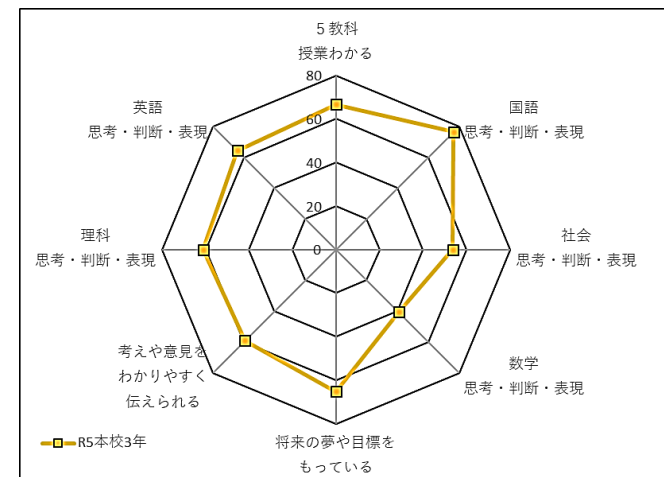
- ・「5教科 わかる」は71.1ポイントでした。単元等の序盤では小学校での学習とのつながりを重視し、終盤ではその単元の学習を通して、何ができるようになったのか、どんな力が身についたのかを振り返ることで、「わかる実感」を得られるように授業づくりに努めます。
- ・「思考・判断・表現」は教科により差がありますが、いずれも全市と比べ、高いポイントでした。学んだことを生かして、自他の考えを比較したり関連付けたりする活動を重視し、共同的な学びを通して、他の考えに共感しながら学びを深めることができるように指導の工夫や改善を図ります。
- ・「将来の夢や目標を持っている」は76.8ポイントでした。キャリア在り方生き方教育を通して、仲間や地域との関わりについて考え、自分を見つめ、良さを感じ、生き方を考える活動を継続します。
- ・「考えや意見をわかりやすく伝えられる」は67.9ポイントでした。授業や行事等で他者と関わり合いながら、互いの良さを認めつつ、自分の考えや意見を伝える、交換する活動を大切にします。

令和5年度 川崎市学習状況調査 2年生

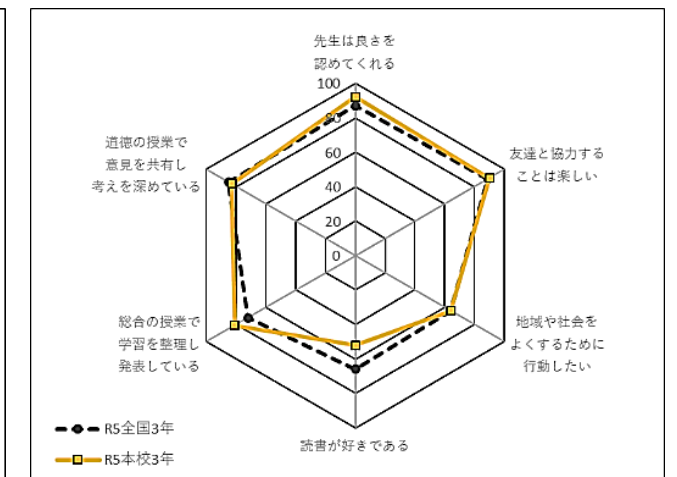


- ・「5教科 わかる」は71.6ポイントでした。日々の授業等では、学習した内容を基に試行錯誤を繰り返し、理解を深めることを重視しています。生徒が主体となって学習に取り組み、疑問を仲間と共有し、教師がファシリテーションすることで、「わかる実感」を得られるように授業づくりに努めます。
- ・「思考・判断・表現」は教科により差がありますが、いずれも全市と比べ、高いポイントでした。学習した内容を自分の言葉で表現し、伝え合う中で理解を深め、自ら新しい課題を発見し、解決していく活動を重視し、課題解決能力を高めることができるように指導の工夫や改善を図ります。
- ・「将来の夢や目標を持っている」は67.8ポイントでした。キャリア在り方生き方教育の一環である職場体験を通して、身の回りにある職業や職場について理解を深め、自分の生活を様々な角度から捉え、自分の夢や目標に沿った生き方を考える活動を大切にしていきます。

令和5年度 川崎市学習状況調査 3年生



全国学力・学習状況調査 3年生



- ・「5教科 わかる」は66.6ポイントでした。学習内容がより発展していく中で、これまでの学習を基に、類似点や相違点を明らかにしたり新たな視点を加えたりし、その理解を深めています。既習とのつながり、具体的な場面での活用を重視し、「わかる実感」を得られるように授業づくりに努めます。
- ・「思考・判断・表現」は教科により差がありますが、いずれも全市と比べ、高いポイントでした。学んだことを活用して論理的に考察したり、関連付けて統合的・発展的に考察したり、各教科に応じた表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したりすることができるように指導の工夫や改善を図ります。
- ・「将来の夢や目標を持っている」は65.2ポイントでした。キャリア在り方生き方教育を通して、進路について考え、具体的にこれからの自分、生き方を深く考える活動を大切にします。
- ・全国調査「地域や社会をよくするために行動したい」は64ポイントで、全国平均と同等でした。社会の一員として、学校や地域の行事等の中で多くの人と関わり、郷土愛を育てる活動を大切にします。
- ・全国調査「読書が好きである」は52ポイントで、全国平均を下回りました。「読書週間」を設定し、朝の時間に読書をしたり、国語の授業内で時間を設定したりすることで読書活動の充実を目指しています。その中で文章を丁寧に読み取り、読み取ったことや考えたことを伝える活動を大切にします。